

センサー

1981年 1月号 第5号

東京温度検出端工業会 会報

巻頭言

新年年頭辞

関根 義夫

(株式会社徳力本店取締役副社長)

昭和56年の新春を迎え謹んで会員皆様にお慶びを申し上げます。

かねてから1980年代は激動と不透明の時代と云われておりましたが、それを裏づけたように昨昭和55年はソビエットがアフガニスタンに進攻をすると云う事件で幕あけとなり、イラン、イラク戦争の勃発により非産油国にとっては、全く見透しのたたない事態となりました。

一方これらの事件を材料として海外市場では思惑筋が介入して、あらゆる資材の価格が値上りして、一時は狂乱状態を体しましたが、結果的には、アメリカのインフレ抑制のためのプライムレートの22%近い引き上げにより、その鎮静をみましたが、先進諸国の景気は低迷して1981年を迎えることになりました。

昭和56年度の日本政府の経済見通しは他の先進諸国の成長率に比べ、国内のそれはかなり高い水準で予測されており、たしかに最近の円高傾向は海外での日本経済に対するの評価の向上によるものと思われませんが、輸出を最大の武器とする資源小国としては必ずしも喜こんでばかりいられない現象であり、今年度の増税を考えますと、前途はかなり厳しい年と思われれます。

このような状況下で、マクロでは、代替エネルギーの開発、石油の節約、対外摩擦の減少、等々が最大課題と思いますが、私共センサー業界としても技術の革新により時代に追従をしなければならないと思います。

近年急速に普及しつつある、マイクロ・コンピューターが、今後ますます拡大利用されることはあきらかで、これによる産業界の変革は予想もつかない大変なものになることは必至です。これらの五感の役目をはたす、センサーもより広い範囲に、より高度な性能を要求されることになると思えます。

会員の皆様もこの新時代にますますのご発展をなされますよう、お祈り申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます。

第三回 ゴルフ会報告

55年4月15日、湘南シーサイドゴルフクラブで、第三回のゴルフ大会が開かれました。今回からはこれまで2回の成績を参考にして、ハンディを決め競技を行いました。暖い気持の良い日だったのですが、午後からは風が非常に強くなり、スコアの方も伸びなやんだ人が多かったようです。コンペを開催する時期、場所ともむずかしい面がありますが今後とも年2回のペースでは、ぜひ開きたいと思いますので多数御参加ください。なおこれまでの参加者数は12~15名ほどです。コースを取っていただけるかたがおられましたなら、幹事までよろしくお願い致します。

順位

			グロス	ハンディ	ネット
優勝	秀城茂雄	林 電 工(株)	92	20	72
2位	井世幸次	(株)徳力本店	90	14	76
3位	谷口昌男	東洋熱科学(株)	90	14	76
バストグロス	井世幸次		90		
参加12名	平均ストローク		106		

新入会員紹介

市村金属株式会社

社長の市村様は永年貴金属関係の仕事が続けてこられました。その後現在の会社を設立され、しばらくのあいだはやはり貴金属関係のお仕事が多かったようですが、数年前からは熱電対、測温抵抗体の製造を始め、仕事を広げておられます。現在社員は10数名で業績も好調のようにみうけられます。

代表取締役社長 市 村 宗 次

本社 〒143 東京都大田区大森北2-4-10

TEL 03 (763) 6 4 1 1

工場 〒143 東京都大田区大森中2-18-17

TEL 03 (766) 1 9 3 6

東洋熱科学株式会社

社長の谷口様は、会社を設立させるまではこれも会員であります中外商工(株)の東京営業所長をされており、その頃から当工業会とも関係のあった方であります。数年前独立されてからは特殊な保護管等の開発に力を入れてこられ、その方面でユニークなお仕事を続けておられるようです。最近では食器や置物等に用いられる特殊な美しい磁器も開発され、今後この面での事業も始められたとのことです。

代表取締役社長 谷 口 昌 男

〒110 東京都台東区入谷1-20-4

TEL 03 (872) 1 1 0 1

理事会

2月7日 定例理事会

出席者 林会長、西村副会長、井世（徳力）、山田（山里）、佐藤（古特）、佐藤（助川）、
秀城（林）、八木（西村）

- （株）岡崎製作所の退会を承認
- 原子力発電所関係その他の見学会の検討
- 新規会員の入会勧誘について
- 都立工業技術センターとの共同技術懇談会について

4月15日 定例理事会

出席者 林会長、西村副会長、秀城（林）、山田（山里）、佐藤（古特）、井世（徳力）、
八木（西村）

- 新規会員の入会勧誘について 市村金属、東洋熱科学、対熱電工、ハナワ熱電金属
- 定時総会について 5月23日（金）午後5時より霞が関東海倶楽部にて。
- J I S改訂について 日本電気計測工業会に申し入れ説明会を開催する。
- （株）岡崎製作所退会による理事の補充について 前回選挙次点のデグサ・ジャパン（株）を議長指名で総会に諮り選出する。

6月4日 定例理事会

出席者 林会長、西村副会長、佐藤（古特）、佐藤（助川）、今井（石福）、山田（山里）、
秀城（林）、井世（徳力）、沢田（デグサ）、佐藤（大昌）、八木（西村）

- 各理事の担当は従来通りとし、デグサ・ジャパンは技術担当とする。
- 9月に計量研を中心に筑波学園都市の見学会を行う。
- 会員会社の業態調査アンケートをとると同時に見学会、懇親行事、技術講習会等につき会員の希望をきく。
- 新しい会員名簿をつくる。
- 懇親ゴルフ会を10月頃平日で企画する。
- 会報は年度内最低2回発行する。

8月7日 定例理事会

- 業態調査および会の事業についてのアンケート結果検討
- 社長会議の開催について 10月1日（水）会議および懇親会を帝国ホテルにて開催する。
- 工業技術院筑波研究センターの見学会を11月7日（金）に実施する。
- 懇親ゴルフ会を10月22日（水）に開催する。

10月3日 定例理事会

出席者 西村副会長、佐藤（助川）、佐藤（大昌）、鈴木（田中）、井世（徳力）、秀城（林）、
佐藤（古特）、沢田（デグサ）、八木（西村）

- ユーザーの声をきく技術講習会を計画する。講師は日本鉄鋼協会に依頼する等大昌電機が接渉する。
- 懇親ゴルフ会は出席者少く中止する。来年春に行う。
- 会報は56年1月までに発行する。
- ✓ 標準価格の見直しにつき専門部会会長の打合せを行う。
- 社長会議の結果検討。このような会は度々行った方がよい。
- ✓ 端子箱、防爆端子等原価低減のための共同生産を具体的に検討する。

12月8日 定例理事会

出席者 西村副会長、佐藤（助川）、伊東（田中）、沢田（デグサ）、井世（徳力）、秀城（林）、佐藤（古特）、山田（山里）、八木（西村）

- ✓ 鉄鋼関係ユーザーの話をきく会は、大昌電機が日本鋼管と接渉したが引きうけてもらへず、引き続き事務局で計測制御学会、日本鉄鋼運盟等と接渉する。
- 新春懇親会を明年2月6日に開催する。
- 新春懇親会までに会報と新しい会員名簿を作成する。

会の動き

- 昭和55年1月25日 新年懇親会、神田 川志満にて 出席者 25社、39名
- 3月11日 販売責任者懇談会、国際文化会館にて 出席者 9社、14名
- 4月10日～11日 一泊見学会 見学場所 品川白煉瓦(株)新湯本工場、東京電力(株)福島第一原子力発電所 宿泊 常磐ハワイアンセンターホテル 参加 14名
- 4月19日 第3回懇親ゴルフ会
場所 湘南シーサイドカントリー倶楽部 参加 12名
- 5月29日 第7回定時総会および懇親会
場所 霞が関東海倶楽部 出席者 24社、32名
- 6月26日 J I S改正の説明会 場所 東京卸売りセンター（TOC）
講師 (株)北辰電機製作所 神崎兵三郎氏 出席者 20社、35名
- 10月1日 社長会議および懇親会 場所 帝国ホテル 出席者 16社、27名
- 11月7日 工業技術院筑波研究センターおよび筑波学園都市見学会
見学場所 電子技術総合研究所、計量研究所 参加者 21社、28名
- 12月22日 業態調査アンケート集計結果報告

会員の動き

- 退 会 (株)岡崎製作所
- 新 入 会 東洋熱科学株式会社、市村金属株式会社

編集後記

2年ぶりによく第5号をお届けいたします。理事会ではいつも年に3回から4回は会報を出すようにしようと云う話になるのですが、いざとなると仲々思うようにゆきません。編集委員も何とか継続して発行するよう工夫いたしますが、会員の皆様からの自発的な投稿（何でも結構です）をたくさんいただければ編集もやり易くなります。よろしく御協力と御指導をお願いいたします

昭和56年1月発行 No. 5

発行所 東京温度検出端工業会

事務局

東京都品川区西五反田1-13-11（西村ビル）

電話 494-0671